

1. 学校名

立川市立幸小学校

2. 令和4年度 学校における自己評価（箇条書きでご記入ください。）

立川市民科の取組の効果	<ul style="list-style-type: none"> ・児童が、自分たちの生活する地域に目を向け、分かったことや調べたことを学習場面に生かすことができるようになった。 ・指導者が、地域の自然や物、人材等について、学習過程に意欲的に取り入れ、活用できるようになった。
立川市民科の取組の課題	<ul style="list-style-type: none"> ・学年によっては、取り組む学習内容が、他教科の内容と重なる部分があり、市民科としての内容の独自性を保つことが難しいことがあった。本年度も引き続き、内容の見直しを図っていく。 ・ここ数年続くコロナ禍の影響で、地域における人的関わりを、縮小せざるを得ない傾向にあった。本年度は、社会の状況に合わせて拡大していく。

3. 令和4年度 学校評価に係る共通項目のうち

①対象：児童・生徒

項目：⑫立川市民科では、自分で立てた課題について、情報を集め、整理・分析し、まとめ・表現することができた。

(割合)

そう思う	概ねそう思う	あまりそう思わない	思わない	わからない
42%	35%	17%	6%	0%

②対象：保護者

項目：⑪立川市民科では、探究的な学びの実現に向けて組織的に取り組んでいる。

(割合)

そう思う	概ねそう思う	あまりそう思わない	思わない	わからない
30%	34%	8%	1%	27%